

第12回 年次大会

# キャリア発達支援研究会 青森大会

2024.11.30

-12.01

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会  
対話 がもたらす 感と観の  
アップデート



feel

view

perspective

# 対話

がもたらす

# 感と観の

# アップデート



開催期日

2024年11月30日(土)

12月 1日(日)

受付 9:30~

10:00-17:30

9:00-12:40

会場

弘前大学

50周年記念会館、教育学部

(青森県弘前市文京町1) 一部オンデマンド配信

お申込みはこちら！



参加申込み×切

11月15日(金)

# 第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## 第1部

# まずは、かだるべ・かだるべし

Join us, Lets talk ～アクティブに学び合おう！～



参加申込み×切

11月15日(金)

第1部 10:20~11:50

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## 7つのセッション

### 「多様なキャリア発達の見取りのために」

・部屋を自由に行き来しながら御参加ください。



1	「ラベルコミュニケーション×キャリア発達支援」 (ワークショップ)	講師：金沢星稜大学 人間科学部 講師 柳川 公三子 氏
2	「TEM図を活用したふり返り×キャリア発達支援」 (ワークショップ)	講師：青森県立北斗高等学校 教諭 田中 美紀 氏
3	「地域協働・共創×キャリア発達支援」 (シンポジウム)	座長：広島都市学園大学子ども教育学部 教授 竹林地 毅 氏
4	「幼児・児童期の子どもの学び×キャリア発達支援」 (シンポジウム)	座長：福島県立あぶくま支援学校 校長 鈴木 龍也 氏
5	「障がいが重いとされている子どもの学び×キャリア発達支援」 (シンポジウム)	座長：青森県立青森第二養護学校 校長 湯田 秀樹 氏
6	「共生社会に向けた余白作り×キャリア発達支援」 (レクチャー)	講師：社会福祉法人あーると 理事長 大橋 一之 氏
7	「通常の学級における多様な学び×キャリア発達支援」 (レクチャー)	講師：青森県弘前市立松原小学校 校長 土岐 賢悟 氏

第1部 10:20~11:50

1

2

3

4

5

6

7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション1

# ラベルコミュニケーション×キャリア発達支援

Key Word #対話 #学び合い #内面の見取り #主体的な学び #同僚性の構築

## ワークショップ

講師

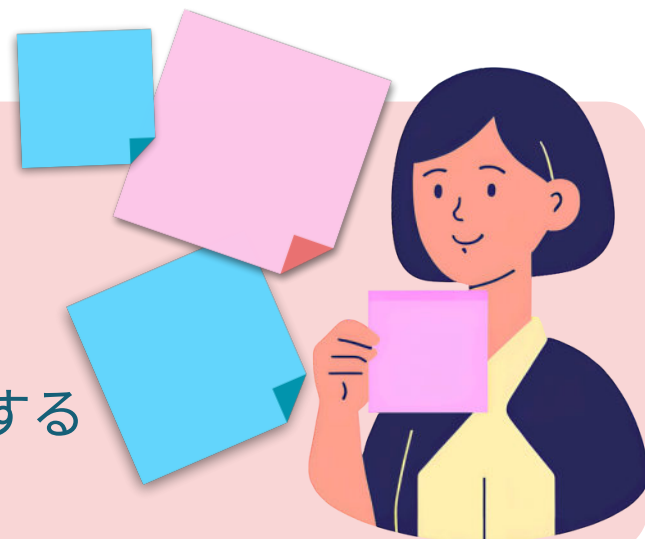
金沢星稜大学 人間科学部

講師 柳川 公三子 氏

ラベルコミュニケーションとは、「授業研究で教師同士が『対話』を活発化するためのラベルワーク」です。

### ポイント

- ①子どもの実態を捉え直す
- ②コミュニケーション力の向上・同僚性の構築
- ③誰もが主体的に学び合う
- ④教師自身が「主体的・対話的で深い学び」を実体験する
- ⑤教師も子どももキャリア発達



第1部 10:20~11:50

1 2 3 4 5 6 7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション2

# TEM図を活用した ふり返り×キャリア発達支援

Key Word #ふり返り #対話 #気づき #共感

## ワークショップ

### 講師

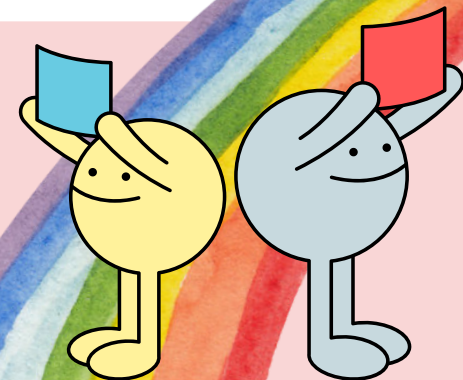
青森県立北斗高等学校  
教諭 田中 美紀 氏

TEM図とは、人間の発達と人生径路の多様性と複線性を捉え描き出す質的研究法TEAに基づき、サトウら（2006）が開発した、複線径路・等至性モデリング（Trajectory Equifinality Modeling）の略称です。それを図にしたものがTEM図であり、筆者は「気づきのためのツール」としてTEM図の手法を活用しています。特別支援学校では、現場実習事後学習（職業科）や自立活動、ホームルーム活動で活用しました。現在、高等学校では、通級による指導（自立活動）、ホームルーム活動での実践をとおして、生徒の見取りや生徒理解の一助としています。

エピソード事例を取り挙げ、小グループで付箋紙を使った演習を行います。

### 体験した生徒の感想

「失敗だと思っていたことが、成長につながっていたことに気がついた」  
「現場実習が終わるまでに、見えない部分で多くの人の後押しがあった」  
「通級で毎月振り返ることで、物事への向き合い方が感情的ではなく計画的に変化した」



第1部 10:20~11:50

1 2 3 4 5 6 7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション3

# 地域協働・共創×キャリア発達支援

Key Word #学びの場 #win-win #ライフステージ

## シンポジウム

### 話題提供

学校（特別支援学校）や福祉事業所が地域と協働して取り組んでいる実践についてお話しします。

### 座長

広島都市学園大学子ども教育学部  
教授 竹林地 毅 氏

### セッション

- ・ 指定討論者による論点整理
- ・ 参加者同士の対話
- ・ 全体共有



第1部 10:20~11:50

1 2 3 4 5 6 7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション4

# 幼児・児童期の子どもたちの学び×キャリア発達支援

Key Word #子どもたちの「想い」 #自立と社会参加 #資質・能力

## シンポジウム

幼児・児童期段階で、どのようにキャリア発達の視点を、意識し、どのような資質・能力を育ていけばよいのか、2人の教員が自身の実践を基に話題提供します。

### 話題提供

- ・福島県立聴覚支援学校会津校 永戸千賀 教諭  
による幼稚部の実践紹介
- ・福島県立あぶくま支援学校 小林弘樹 教諭  
による小学部の実践紹介

幼児・児童期の子どもたちの学びを支える視点や、授業づくりを考えます。

### 指定討論

- ・東北文教大学人間科学部 准教授 杉中拓央 氏

## 座長

福島県立あぶくま支援学校  
校長 鈴木 龍也 氏



参加者同士の対話を通じた協議

第1部 10:20~11:50

1 2 3 4 5 6 7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション5

# 障がい重いと言われている子どもの学び ×キャリア発達支援

Key Word #本人主体 #居住地 #支援機器 #臨床動作法

## シンポジウム

座長

青森県立青森第二養護学校

校長 湯田 秀樹 氏

話題提供

【本人、保護者】

在籍校（知肢併置特別支援学校）や居住地校での学び、地域での生活についてお話しします。

【教員】

こころやからだに着目した子どもの学びと教員の関わりについてお話しします。

## セッション

- ・ 質疑応答（だれでも、なんでも）
- ・ 論点整理（ポイントはどこ、なに）
- ・ 全体対話（かだるべ、かだるべし）
- ・ 全体共有（んだべ、んだな、んだよ）





第1部 10:20~11:50

1 2 3 4 5 6 7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション6

# 共生社会に向けた余白作り×キャリア発達支援

Key Word #地域で生きる #アリノママ #アタリマエ

## レクチャー

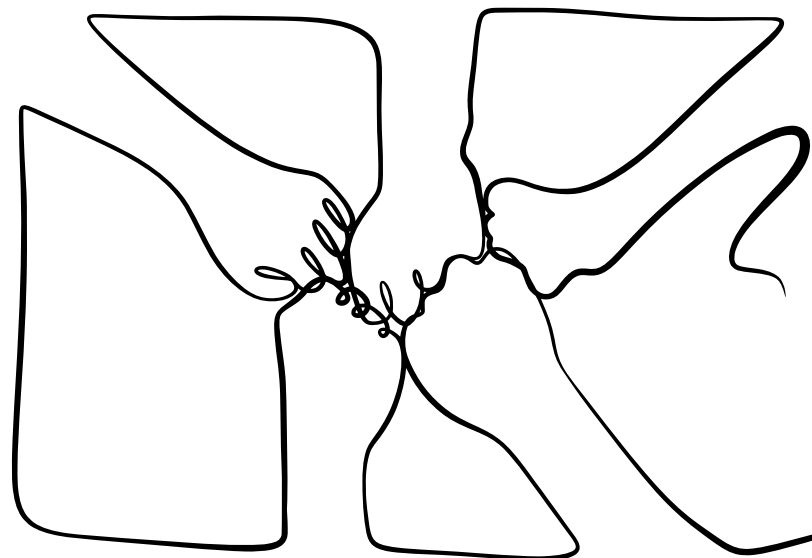
社会福祉法人あーると(青森県五所川原市)  
理事長 大橋 一之 氏による  
共生社会の形成に向けた取組や、  
障がいのある人の地域での生活支援  
についての実践紹介



質疑応答をもとにして、参加者で  
ディスカッションします

## 講師

社会福祉法人あーると  
理事長 大橋 一之 氏



第1部 10:20~11:50

1 2 3 4 5 6 7

# 大会企画セッション

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## セッション7

# 通常の学級における多様な学び×キャリア発達支援

Key Word #児童生徒主体 #子どもに委ねる授業 #自立した学習者の育成

## レクチャー

### 講師

弘前市立松原小学校  
校長 土岐 賢悟氏

土岐 賢悟先生（弘前市立松原小学校 校長）  
による「子どもに委ねる授業」の実践紹介

### ディスカッション

話題提供を基に参加者で自由に協議します



# 第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

Day1

2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## 第II部

# 「感 (feel) 」と 「観 (view, perspective) 」の アップデート



参加申込み×切

11月15日(金)

第II部 13:20~15:50  
記念講演



演題

「どの子も違う」を踏まえた新たな学びのカタチ  
— 様々な「枠」を超えて、「その子」の  
新たな学びのカタチを探る —

東京大学先端科学技術研究センター  
シニアリサーチフェロー

中邑 賢龍 氏



第II部 16:00~17:30

# ポスターセッション

Day1

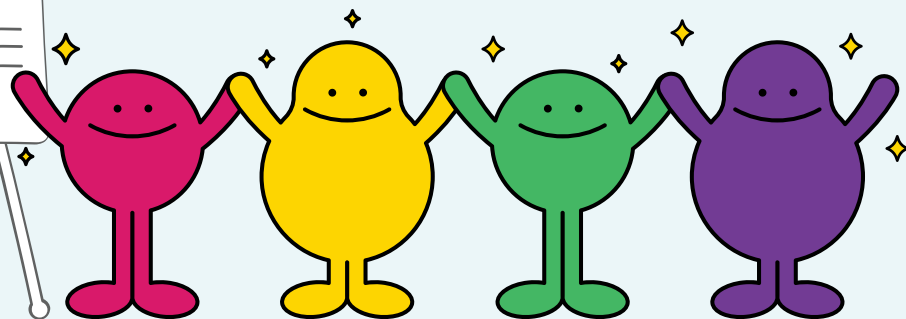
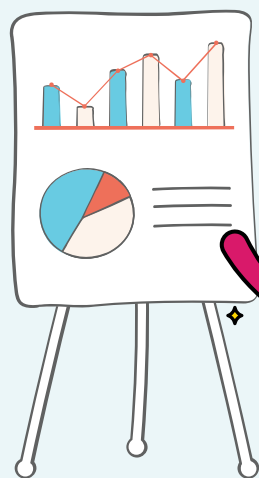
2024.11.30

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## 全国からの実践発表と参加者同士の対話

- ・当事者発表も予定しています。
- ・ポスター発表者を募集中！  
発表エントリーメ切：10月12日（土）



# 第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

Day2

2024.12.01

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## 第三部

アップデートした

「感(feel)」と

「観(view, perspective)」で

これからを描く



参加申込み×切

11月15日(金)

# 本人を中心とした キャリア発達支援のこれからを描く

1

## 「地域と共に学ぶ、生きる」

岩手県立盛岡みたけ支援学校二戸分教室  
教諭 岩崎 正紀 氏

地域の小・中学校の校舎で共に学習し、儀式的な行事や運動会、作業製品づくり等を一緒に行う交流学习の取り組み。  
共に学び、対話することで変化する子どもたちの姿について話題提供します。

2

## 「本人の願いを中心とした 『私の応援計画』」

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校  
教諭 池田 和馬 氏

「対話」を大切に作成している児童生徒の夢や思いの詰まった「私の応援計画（本人主体の教育支援計画）」。  
「私の応援計画（本人主体の教育支援計画）」を通じた、児童生徒が生涯にわたり学び続ける資質・能力の育成について話題提供します。

3

## 「ゼロから描く無限の可能性」

アーティスト  
特定非営利活動法人C-FLOWER理事長  
佐藤 涼 氏

両手足が不自由なため、口に筆等をくわえて描くアーティスト。  
国内外で活動する一方、地元青森市では就労支援事業所も営んでいます。  
佐藤氏の経験をもとに、本人を中心とした支援の在り方とは。  
自分らしく生きる彼の生き方について話題提供します。



# 第III部 グループセッション ミニシンポジウム

話題提供終了後～10:50

11:05～12:25

Day 2

2024.12.01

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会  
対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

## 参加者同士の グループセッション

参加者の皆さんには、  
5つの視点より選んでいただきます。

各視点に基づき感じたことや  
新たに気付いたことを自由に  
言語化し、対話していきます。

## ミニシンポジウム

ミニシンポジウムでは、  
各グループセッションの  
レポーターによる報告もあり  
ます！

1

ウェルビーイングと  
エージェンシー



レポーター

松見 和樹 氏

千葉県立特別支援学校流山高等学園 校長

2

教員および組織の  
キャリア発達



レポーター

坂本 征之 氏

横浜市立北綱島特別支援学校 校長

3

授業・教室・  
学校づくり



レポーター

清水 潤 氏

秋田県立横手支援学校 校長

4

地域協働・共創



レポーター

竹林地 毅 氏

広島都市学園大学子ども教育学部 教授

5

カリキュラム・  
マネジメント



レポーター

武富 博文 氏

国立特別支援教育総合研究所 総括研究員

コーディネーター

菊地 一文 氏

弘前大学教職大学院 教授



指定討論者

丹野 哲也 氏

国立特別支援教育総合研究所

上席総括研究員

(元 文部科学省 視学官)





閉会行事  
終了後

# Afterセッション

Day 2

2024.12.01

対話 がもたらす 感と観の  
アップデート

第12回 キャリア発達支援研究会 青森大会

## 希望者によるカジュアルな省察

